

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公開番号】特開2008-57182(P2008-57182A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-234252(P2006-234252)

【国際特許分類】

E 0 2 D 17/20 (2006.01)

E 0 1 F 7/04 (2006.01)

〔 F I 〕

E 0 2 D 17/20 1 0 3 A

E 0 1 F 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月18日(2008.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

法面の地表に沿って網目状に張設した縦横のワイヤロープの上下と左右の端部及び交点を地盤に固定するアンカーにおいて、所要のアンカーが対象法面部位に対し 360 度の方位において直角状に埋設されていることを特徴とする落石防止用アンカー。

【請求項2】

対象法面部位が上下方向に傾斜した面である請求項1に記載の落石防止用アンカー。

【請求項3】

対象法面部位が上下方向に傾斜しかつ左右方向でも傾斜した面を含む請求項1に記載の落石防止用アンカー。

【請求項4】

施工予定場所の地表に沿って縦横の糸を所要間隔で張り、それら縦糸と横糸の交点をアンカーの設置場所とし、その交点において少なくとも2方向で地表面に対して直角方向を測定し、測定角度を基準線としてパイプアンカーが地中に打ち込まれている請求項1ないし3のいずれかに記載の落石防止用アンカー。

【請求項5】

交点において少なくとも2方向で地表面に対して直角方向を測定する手段が、中心に棒状部材を貫通して打ち込むガイドパイプを備えた三脚状の治具である請求項4に記載の落石防止用アンカー。

【請求項 6】

アンカーとして本体先端部内側に推進力受け部を有するパイプアンカーを使用し、径が拡縮可能なビットヘッドを先端に有しその後方に前記推進力受け部に当接可能なつば部を備えたビットとハンマー部および回転軸部を直列にした掘削アッセンブリーを前記パイプアンカーに挿通させ、ビットヘッドをアンカーアンカーダウン端外で拡径させた状態で回転軸部とハンマー部を介してビットを回転させつつ、前記ハンマー部の推進力をつば部から推進力受け部に伝えて打撃することで所要深さに達するまでパイプアンカーを推進させ、次いでビットヘッドを推進力受け部の内径より小さく縮径し、掘削アッセンブリーをパイプアンカーアンカーダウンから抜き取る方法で埋設されることを特徴とする請求項1ないし5のいずれかに記載の

落石防止用アンカー。

【請求項 7】

アンカーは施工場所に据付けられる打ち込みフィード用の架台を介して埋設される請求項1ないし6のいずれかに記載の落石防止用アンカー。

【請求項 8】

アンカーが亜鉛あるいはアルミ亜鉛合金メッキが施されているパイプアンカーである請求項1ないし7のいずれかに記載の落石防止用アンカー。